제634호　1911. 2. 24.

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年

本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久禪一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所　京城新報社

寄書

種苗選擇に就て(上)

式田生

種子は新植物を作り出す根元なるを以て審めて善良なるを選ばざるべからず殊に齒木に至りては一層注意を要す何となれば果樹の如き數年後に於て結果を見るべきものなれば種苗の善惡は收穫に莫大の影響を及ぼすことは贅言を要せざる所なり然らば如何にせば善良なる種子を採取し得るや又善良なる種子とは如何なる特質を具備するものなるや蓋し農事經營者の研究すべき必要の事柄なりとす

一、其品種の特性を具備し且つ完全なる遺傳力を有する事
即ち雜交の疑なき善良なる母植物より採りたるものなること

二、發芽步合多く且つ强勢なる事
即ち健全に發育し重大豐厚なる事

三、形狀色澤の正しく雜物の混入なきものたる事
即ち充分に成熟し調製に注意し亦良好に貯藏せられしものなる事

以上の如き特質を具備するものを以て初めて善良なる種子と云ことを得べし然して此の性狀を具へしむるには如何せば可なるやは採種者の綿密なる幾多の注意と手數とを要し初めて正確完全なる種子を得るなりされば其の種子の高價なるは當然の事に屬し亦止むを得ざる事なりとす

然るに或る種苗會社又は商人等は其の價安くして顧客に買ひ易からしめん事のみ努むるもののなきに非ず是れ單に營業上より見れば其の手段として止むを得ざるものあるべしと雖ども元來精撰したる純良正確の種苗は如何に苦心するも格外の安價を以て之を得らるべき筈なし苟くも純良正確の種類を得んとするに當ては其特定せる產地に就て綿密なる注意を拂ひ特別に之を栽培し充分なる撰種をなしたるものに非ざれば到底保證して之が販賣をなすこと能はざるものなり隨て格外に安く販賣し得ざることは之を前掲の事實に徵して明なりとす故に時價には標準なるものありて其の以外に甚だしき高低あるものに非ず果たして然らば特別に安き價格を以て發賣するものには其の裏面に於て必ず何等か特種の手段行はるものと認定せざる可らず

●鮮海捕鯨好蹟

朝鮮

海の捕鯨は主として東洋捕鯨會社之れに從ひ居れるが近來朝鮮海は時化多く一般景況思はしからざるべしと推測されども該沿海は常に豐饒にして捕鯨の見るべきもの多く殊に舊臘來鯨群集來期に入り天候も差したる變動も無かりしより以來百餘頭の漁獲あり而して鯨肉市場に於ける昨今の相場は爲めに好氣配に向ひ赤肉は百斤八九圓より十二三圓を以て取引せられつゝあり殊に冷藏裝置を以て新鮮なる鯨肉を阪神市場に供給せられ頗る好人氣を呈し居れりと

一家言

赤裸々主義(上)

太平洞隱士

吾人を目して徒らに綺語を弄し快哉を叫ぶ者と速斷する勿れ、赤裸々主義は主義其者に何等の深意味の存在するあるなし、國家主義、個人主義若くは社會主義の如く主義てふ字句に何等の拘泥なく、只赤裸々を論せんとし、赤裸々を究めんとするが故に、主義なる文字は漫然附着せしめたる譯のものなることを最も赤裸々に表白し置く、猶赤裸々を論ずるが故に、吾人の態度と言語とは當然赤裸々ならざる可からず、若し吾人の赤裸々に當てられたる者ありとせば、其人間は赤裸々の人間にあらざるものと知るべし。

人性の徑路は羊腸迂回なり、故に辛苦慘憺を盡して始めて目的の彼岸に到着するものなりと說く人あり、固より複雜紛糾、大變小變苟くも停止せざる現代社會に處せんとせば、矢張り複雜なる鑄型に適合せしめざるべからず、換言すれば羊腸の道たる以上、其羊腸を辿らざるべからず、迂回すべきに迂回せざるは眞の處世法にあらざるや論なし、吾人亦是れに對して何等の異議を申すものに非ず、されど玆に多少の議論を加ふべき餘地あるを認識せざるべからず、何ぞや、羊腸主義、迂回主義、臨機應變主義、曖昧主義、誤魔化主義、機節主義を以て現代社會に處すべき唯一なる方策と自信し、此方策を使用せざるに於ては全然社會より放逐せられ自己の生命を失ふものなりと考へつゝある者頗る多ければなり、吾人の禿筆を呵せんとする所以即ち是れなりとす

外事一束

▲奉天●　商務總會其他有力團體は日清共同防疫の實現を嫌忌して支那官憲に迫り日本に對し主權の侵害を攻擊すべく强請せりと吁度し難きは支那人也。

▲交涉●　右强請の結果清國官憲我領事に向ひ防疫の助力を仰ぐも日本警察の戶口調査は清國主權を侵害すと抗議し領事承認共同防疫不可能とは遺憾也。

▲鳥港●　にては近々露領內へ鼠疫流行地よりの仕拂品輸入禁止を斷行すべしと云ふ若し之が實行を見る事とならば我國の利益甚大なり遮斷を望むや切。

▲放逐●　黑龍江總督は管內に居る無職業支那人四千人に退去を命じ十九日より之れが輸送を開始し今後猶多くの退去者を出すならんと鳥港よりの電報。

▲長春●　附近昨今物價騰貴就中高粱の如き昨夏に比し一躍倍額に上り其他の物貨皆之に準じて騰貴し中流社會の生活非常に困難と成到處不平の聲滿つ。

▲消息●　政府は資政院の決議に基き統一國庫章程十五箇條を發布す其內容は北京に總庫一各省に分庫一箇所を置き度支部大臣之れを總轄するものなり。

▲會議●　清國政府は駐露同國公使の斷國行觀群電に接し外務部にて外務官吏の大會議を開き那桐比決議を齎し慶親王を訪ひ十九日聯攝政王に面奏せり。

▲硬論●　右大會議席上外部侍郎鄒嘉來は露國が西北各地に領事館を設置する害を痛論し且郭里札を占領し庫倫等に自由貿易要求は斷じて不許と云へり。

▲彈劾●　清國外務部右丞[illegible]基は伊犁將軍廣福の任に堪へざるを彈劾し適任者を選拔し且西北邊防備大臣を特派し軍隊を訓練せしむるの急務を建議せり。

▲佛國●　は列國に向ひ鼠疫及虎列拉豫防に就て商議をなす爲來五日巴里に於て衛生會議開催せん事を勸誘せり。

召使れ初

(二の八)　碧瑠璃園

『れ二方のれ詞よく分りました、私思案別儀もござりませぬ、海老屋德兵衛店へ參つて、仕事の手傳ひ致しとうござります』

『これ〜』と佐五右衛門は手を振り

當時盃を手にもせうが、それまでは香も嗅かぬ』

『私、嫁女には參りませぬ、海老屋主爺の袖に縋つて奉公に參りたう存じます』

『何と申すの』と佐五右衛門はきつと云ふ

『されば、れ給金も呉れやうと存じます、私れ給金だけは無い物にして、れ父樣御酒の代にさし上げたいと心得ます』

『我子ながられ前は神ぢや、これほどに私の身を思ひ呉るゝ』と熱い淚を頰に流して『すると何か、德右衛門の嫁には爲らぬか、海老屋の奉公人には爲るといふか』

『れ父樣御意の通りでござります』

『嫁御寮と奉公人、少々違ひあるやうぢやが、德兵衛納得致さうかの』

『私、直々頼む心でござります』

『はて、れ前がの』

佐五右衛門は妻のれ力と顏見合せて

『間違ひしては可けぬ、德兵衛はれ前に仕事頼むと申すのでない、れ前を德右衛門妻に迎ねたいと申すのぢや』

『夫は心得てもござりますなれど、私にはれ父樣れ母樣ござります』

『私もある、れ力もある、其處で何うする』

『私はれ父樣に、御好物の御酒を廢めさせたくてござりませぬ』

『れ前は又それを云ふ、今日浪々の身を以て、酒なぞを嗜むは以ての外ぢや、以後は再び盃を手にせぬ覺悟、それはそれ、此はれ前の緣談ぢや、何れへ致すの』

『私はれ父樣、唯一のれ樂み、假へ深山は遊ばさずとも、少々づゝは差し上げたいと心得ます』

『さほどに申し呉れる志は嬉しいが、れ前に爲、れ力に爲、苦勞ばかりをして樂みは氣も致さぬ、其の中で私一人樂みを求めるは法にない、由つて今後はふッと禁酒、佐十郎でも世に出れば

思はず眼を拭ふ時

『只今歸りました、母樣々々〜』と臺所で呼ぶ聲して、どさりと椽に腰掛けたる樣なりき

『佐十郎でないか』と佐五右衛門は眉を顰めぬ

『どうやら悴の臭ひ致します、又醉ひしれて居るのではござりませぬか喃』

『兄上れ歸り、嬉しいそうでござります』とれ鶴はいそ〜座を起たんとす

『捨てたけ〜』と佐五右衛門は引き止め『どうせ當に爲ぬ悴、假し歸つても用は無い』

『母樣々々』と臺所では呂律も廻らぬはさの聲

『只今歸りました』

『案の如、醉ひしれてあるやうぢや、時も時、嬉しいものが歸つて來た』とれ力は悲しみに目を拭つて『誰ぢや』

『佐十郎でござります、母樣何方に在らせられまする喃』

のそ〜と上りて、次の間より奥を覗き込む、黑龍紋の紋服に、白地博多の帶、臙色鞘の兩刀を落し插にして、面は赤く、目は朱の如く血走りき

『佐十郎』そなたまア何處をはつき步いて居やふ、つい番町まで參ると申して、家を出たが幾日前ぢや、とれ力は噛み付く如くいふ

佐十郎はそれに答へもなく、ぴたりと坐りて、綿の如く兩手をつきつゝ

『何ともれ詫のしやうも無い、眞平御免下さりませう』

決議案と臨時閣議

●東京電報（廿三日）

本日國民黨提出の決議案に對し政府は秘密會と爲すべく今朝衆議院内に於て臨時閣議を開けり

●民黨問責決議文

民黨代議士會に於て決議し衆議院に提出したる問責決議文は左の如し

[illegible]

右決議す

▲眞面目會の運動

[illegible]

●露淸懸案の落着

[illegible]求全部を承認し露國[illegible]と表し先日來の懸案[illegible]告げたり

●移民制限と米國

米國[illegible]了となるべきは米國[illegible]限但書きを削除す

●葡萄牙の大變動

葡萄牙に於[illegible]工起りたり共和政府[illegible]るも効無く近々大變動[illegible]

●韓國銀行總會

韓國銀行は廿[illegible]開き年六分の配當案[illegible]

雜報

●朝鮮問題と會議

[illegible]計局長より衆議院[illegible]督府鐵道局通信局の[illegible]經過に關し左の如き[illegible]內務部に於ては目下[illegible]關する諸規程を制定[illegible]の運びに到るべく確[illegible]署

●製造所と總督府

東電 [illegible]務省に於ては釜山附[illegible]製造所を新設すべく[illegible]に計上したるが是れ[illegible]於ては敷地の検分等[illegible]の準備に鞅掌し居れ[illegible]府の事業には關係な[illegible]業にして總督府は唯[illegible]ぎずといふ

●愛林志想の普及

朝[illegible]朝鮮人間に愛林志想[illegible]神武天皇祭日を卜し[illegible]公署學校等に樹植せ[illegible]工部にては各道に對[illegible]する處ありたるが京[illegible]趣旨に基づき十二箇[illegible]け警下府尹學校長等[illegible]たり

●韓銀株の第二回拂込期

[illegible]資金充實の爲め第二[illegible]來四月を以て拂込の[illegible]行すべきよしは既報[illegible]金拂込を爲さしむる[illegible]開く所によれば株金[illegible]總會の同意を經せず[illegible]一箇月前に株主へ通[illegible]

知を發するを以て足れりと

●政府持株と韓銀

韓銀 韓國銀行が資金充實の爲め第二回の株金拂込を決行すべきは別項所載の通りなるが政府に於ては既にこれが準備をなし持株三萬株に對する七十五萬圓を計上豫算に編入せりと云ふ

▲韓銀株の眞相（三）

營業資本欠乏の爲に

無餘儀も第二回拂込に因つて之を充さんとせる韓銀が近く增資を決議し新株を發行するなどとは思も寄らざることなるがサテ世は盲八千人にて一犬虛を吠ゆれば萬犬直ちに實を傳ふ譯もなき誤傳に韓銀株の呼値が一時暴騰したるは一犬虛を吠へたるが爲なり而れども落附いて考ふれば其暴騰したりと云ふは單に**呼値**にして實價には非ず彼の大阪若しくは東京にて最近九十圓臺にて數百株の賣買行はれたりなど傳へらるゝは之れ虛を吠ゆる**一犬**の**仕業**なり遮莫總會を無事に切拔けしめんが爲め第二回拂込を容易ならしめんが爲に成者の行ひたる吊上策は一時美事に成効せり而かも吊上げの成効せるは眞の束の間今日に於ては眞相判明して呼値さへ日々**降下**するに到れり

▲韓銀條例の改正

其內容は茲に多く說を要せずと雖ども名稱の變更などは別として其主眼とするところは**保證準備に因る銀行券發行力の增加**乃ち**政府貸上金**のれ取り直さず之なり保證準備による發行力の增加は增加にして言を換ゆれば近時傳へらるゝところの朝鮮事業公債の引受を意味す故を以て今回の條例改正が同行にとつて有利なりと傳へらるゝが如き亦宜なりと云ふべし然りと雖ども物には程度あり限度あり

▲朝鮮事業公債

引受の事如何に有利なるが如くなるも高が五ヶ年間に三千五百万圓にして一ヶ年僅かに七百萬圓なり七百万圓の事業公債を保證準備として銀行券を發行する同行にとつて幾許の利益あるやは知るべきのみ而るに世間之あるが故に韓銀株の將來を**不自然的に有望**なりとなすものあり蓋し思はざるの甚しきと云ふべし要するに韓銀株が其創發以來世上**不自然的に歡迎**せられたる所以のものは日韓併合と共に**日本銀行に合併**せらるならんと想像せしが爲なり否想像の時に非ずして日鮮經濟の實際上斯く有らざるべからずと推信せられたるが爲なり而るに今や韓銀は改正せる條例を得其欠乏せる營業資本を將來永劫半島の中央銀行として止まらんとす同行の基礎茲に於て定まり同行の株式價格茲に於て定まらんとす

▲韓銀株の價格

之を從來に見るに恰かも一學生が富豪の養子となるべしと噂されて一時高利貸の信用を得たるが如し一學生素より將來に於て多少有望ならざるに非ず而かも一個人として彼れの有望の程度や彼れが富豪の養子となると同日の談にあらず今や學生たる韓銀は分相應の基礎定まり富豪乃ち日銀への養子談消へて其將來全く明となれり今後の韓銀株は總ての**空望**を離れ全く**利廻**りのみを以て**價格**を算せざる可らず而して其利廻りの增加は銀行券の增發言を換ゆれば遲々たる半島生產業の發達に俟たざるべからず何すれぞ夫れ二十五圓拂込の株式を拂込の三倍若しくは四倍に評價するの愚者あらんや

●安東銀行創立總會

近く創立さるべき安東銀行にては既報の如く本月十六日より同十八日迄三日間株式募集を爲し豫期以上の好成績を收め得たる由にて來る三月四日午後一時より舊遊園地花園樓に於て創立總會を開き（一）創立事務報告の件（二）定款決定の件（三）取締役及監査役の員數決定の件（四）取締役及監査役選任の件（五）商法第百三十四條に依る報告の件其他重要事項に就き協議決定を爲し引續き臨時株主總會に移り株式會社安東銀行の設立と同時に現在の貯蓄會解散並に之が淸算に關する件を附議する筈也

●總督府中學校舍工事

總督府中學の新築工事は十五萬圓の工事費にて昨年度より景福宮內に起工し四十四年度を以て竣成の筈なるが本年度豫算は八萬四千六百圓にて既に教室の全部を了り殘部は特別教室、校舍、寄宿舍及官舍等なりと

●京城民團民會

京城民團民會は豫報の通り廿三日午後二時より開會出席議員廿四名傍聽者百餘名の多きを算せり海津議長例の如く開會を宣し夫れより古城民長左の各號議案に就き詳細**提出理由**の說明あり

一、京城民團規則第十號稅則改正及別紙稅率改正の件

二、同上第十一號京城居留民團稅賦課及徵收規則改正の件

三、督促手數料改正の件

四、汚物掃除料廢止の件

五、基本財產の設置及管理に關する件

六、職員手當舍宅料支給方法改正の件

斯くて第一讀會に入り各議員より種々の質問續出し民長一々之に答辯を與へ委員付托となれり是より先き**高橋**章之助氏より左の**建議案**あり

一、京城市區改正施設に關する建議

二、國有財產無代下付要求の建議

三、現行京城民團制を改正し民長は官撰とするも必ず民會の推薦を要し又互撰の參事會員を置き合議制を以て行政事務を執行し更に民會の權限を大に擴張する建議

右に對し熱心其理由を痛論したり是亦委員付托となれり

●稅制の大改正

京城民會は別項の如く理事者の提案に係る居留民團稅賦課徵收規則及稅率改正案を付議せしが右は豫て特別稅制調査會の決定を經たるものにして京龍合併後の不均衡を正して公平を保ち其內容に幾分の進步あるを示せり而して各稅率の等級は戶別稅は特別一等四千圓以下五等千五百圓同上一等千二百圓以下三十五等二圓迄土地稅は一等表二十圓裏半額以下八等最低五十錢迄營業稅は商業特別一等三百五十圓以下四等二百圓同上一等百五十圓以下十五等一圓五十錢工業一等五圓以下三等一圓五十錢雜稅特等二百圓以下細別せり

●民團の課稅標準

京城民團議會は別項の如く二十三日午後一時より開會したるが其議題たる稅則改正案に付き課稅標準の如何を聞くに俸給に依る者は一年三百六十五日の內四日乃至七日間分を納稅率とし商人は所得を以て同上の率を割出す筈にて例へば宇佐川東拓總裁の如く一ケ年一萬七千餘圓の收入ある者は一日の收入約四十七圓とあるゆへ三百二十九圓を納め五十錢の日給取りは四日分として二圓を納むる割合なりといふ

●各地の工事狀況

韓國銀行調査に係る朝鮮各樞要の地に於ける最近の工事界を記せば左の如し

▲京城　一月十日以後韓銀建築場に於て大工百四五十名總督官邸にて二三十名が木工事を營める外一二工事場にて木挽職が製材を爲せるに過ぎずとて工事は一般に休止の狀態にあり

▲仁川　月尾島檢疫所の急速に進行されつゝあるの外工事界は一般に閑散を極む

▲鎭南浦　築港埋立工事は結氷中ながら幾分宛進捗しつゝあり當地廣梁灣間鐵道工事は四月頃ならでは竣工せざるべし

▲平壤　工事界は目下休止の狀態にあ

▲木浦　目下工事は一般に閑散を告げ勞力の需要も少にして賃金弱氣なり

▲馬山　馬晋間道路工事軍港貸下地埋築工事日韓瓦斯電氣會社布設工事等勃興し工事界活況の裡にあり

▲群山　臨益水利組合工事本年六月に竣工すべく寒中にも拘らず作業を繼續せる外一般工事は中止の姿なり臨益水利組合工事は近く水門及築港の工事に取掛かるべし

▲釜山　停車場前埋立工事は弗々ながら續行せられ埋立工事亦た幾分進行しつゝあるも建築工事は總て休止の姿なり

▲大邱　安東道路工事は寒氣の爲め進行捗々しからず建築工事も殆んど休止の姿にて工事界は一般不振を呈す

▲城津　稅關突堤工事は寒天の爲め中止に歸せり

▲羅南　兵營基礎工事弗々進捗するあるに過ぎずして諸工事殆んど休止の狀態

▲新義州　鴨綠江架橋工事は解氷後に於ける諸材料の準備中にあるのみ

▲安東縣　隧道工事の引續き進行しつゝある外避病院一部の工事幷に建增工事あるに過ぎず

●學校敷地貸與許可

京城民團にては四十四年度に於て小學校を增築する計劃あることは既報したるが舊龍山文平山の鐵道構內に於て二千三百五十七坪を當分の間無料にて小學校敷地として京城民團へ借入れることは大屋鐵道局長官より今回許可せらる

朱安鹽田事件

木尾原告辯護士談

朱安鹽田所有權に關する秋吉富太郎對寺內總督訴訟事件に就き原告辯護士木尾虎之助氏曰く本件は既に三回の辯論を經過し而して尙は一回開廷すれば第一審の判決を見るに到るべし訴訟の要點は被告官憲は該鹽田の國有地たるを主張し原告が之を買收せしは土地其物に非ずして則ち鹽製物及之に伴ふ設備なりとて既に總額一千圓までの賠償なれば敢へて辭せざるべしとの意向を漏せり然れども原告の買收せし價格は實際二千圓なるを以て遂に折合ふ能はず茲に訴訟を提起せる所以なり而して本事件の進行上最も趣味ある問題は事苟くも行政上の處分不服に原因するを以て如何なる**程度**まで**司法權**の**獨立**保維せらるべきか之を看取するに在り想ふに過去の朝鮮に顧みる時は斯かる係爭事件は將來必ずしも絕無ならざるべし何となれば所有權の不確實なる到底吾國の比にあらざる朝鮮に在ては往々不完全基礎の上に權利を設定し之が爲めに不測の損害を被る事尠からざればなり予をして忌憚なく評論せしむれば吾等母國人が遠く朝鮮に渡來し移住の計を立て貴重なる財產を注入し或は殖產事業に或は商工業方面に活動せるに方り一朝行政上の手加減の爲めに折角**獲得せる權利**を**蹂躪**せらるゝが如きあらば何人か安じて其業に樂むを得ん是れ決して統監政治の本意に非ざるべし現に這般係爭事件の如き原告は完全に之を買收し居るに拘はらず强いて鹽製鹽幕の買收なりとし土地其物を認めざるは當時の賣買手續を省みざる妄斷たらずんばあらず又國家が私人の損害を犧牲にして之を國有とするも決して之を以て國家富めりと言ふべからず故に賣買當時の情狀をも酌み公明なる判決を望まんと欲す

●仁川商議臨時總會

仁川商業會議所にては昨廿三日午後七時より臨時總會を開き芝田友太郎の取立課金決濟に關する件を附議せり

●總督府醫院の生徒募集

朝鮮總督府醫院は從來醫科生徒の定員二百名なりしを今回規則を改正して三百名となしたる結果醫科第一學年生徒七十五名及助產婦科看護婦科各二十名宛合計百十五名を募集する由なるが其募集方法の如きも洽く各道より志望者を募らんが爲入學試驗を各道慈惠醫院に依囑せりと志望者の年齡は十七歲以上二十五歲以下の朝鮮人にして醫科は優等の者二十五名他科にありては十名宛每月の食費、被服、雜費等を官給すと云ふ入學試驗科目は醫科にありては國語、漢文、算術其他の科にありては國語のみを行ひ各地とも期日は三月十日午前九時より始むと詳細は追て朝鮮總督府官報に掲載されむ

●阿部充家氏歸東　二十三日南大門發

●釋尾旭邦氏　雜誌朝鮮主幹釋尾旭邦氏は東上中の處二十二日午後東京出發二十四日午後八時南大門着歸京すと

●大垣丈夫氏渡淸　前大韓協會顧問たりし大垣丈夫氏は渡淸の途次當地に滯在し居たるが二十三日出發す

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客　二十二日の分、
乘車客　五三四　下車客　六四一
乘車賃金　一〇三七、三三

▲南大門驛荷扱高　二十二日の分、
發送　六三噸　到着　三四四噸
貨物賃金　五九七、二二

▲龍山驛乘降客　二十二日の分
乘車客　一九一　下車客　一五二
乘車賃金　一五八、七二

▲龍山驛荷扱高　二十二日の分
發送　四噸　到着　二一七噸
貨物賃金　一九六、五八

▲相場電報

（明治町西村支店着電）

[illegible]

公人私人

▲入江鎭雄（水產組合監督）　二十二日入京淸風[illegible]

▲平田幸助（辯護士）　同上三日月

▲仁川港の出入船舶▼

▲萬成元號　廿四日芝罘より入港

▲群山丸　同　大阪へ向出帆

▲大阪期米

●廿三日前場二月止十五圓六錢三月止十九錢▲四月止三十四錢▲後場二月止十九圓三錢▲止五錢▲三月寄十六錢▲止同上▲四月寄三十三錢▲止三十一錢[illegible]

●廿四日前場二月寄十五圓四錢▲三[illegible]寄十七錢▲四月寄三十錢[illegible]

▲仁川米豆取引

●廿三日後場二三月出來不申▲四月[illegible]十圓九十九錢▲最高十一圓五錢▲最[illegible]十圓九十六錢▲止十一圓三錢

●廿四日前場二月出來不申▲三月寄[illegible]一圓二十六錢▲最高三十錢▲最低二[illegible]六錢▲止十一圓三十錢▲四月寄十一[illegible]十錢▲最高二十六錢▲最低十錢▲止[illegible]十五錢

▲治外法權▼

嘗つて伊藤公[illegible]代に一度問題になつた京城の市區改[illegible]が最近我民會の問題になつた、案の[illegible]出者は東京市區改正委員の經歴ある[illegible]穗積議員、ドウカ空論に終らせたくな[illegible]ものだ▲市區改正に就いて最も熱心[illegible]最も良く研究したのは元の三浦理事[illegible]であつた、彼れは百五十万圓の民團[illegible]を起し、ソレを資金として改正の業[illegible]實行せんとしたのだ、不幸彼れが的[illegible]した東拓會社が右の民團債を引受け[illegible]ざりし爲め、折角の案を彼は遂行せ[illegible]して止んだ▲今や我京城は東京、大[illegible]其次に位すべき運命を有つことゝな[illegible]た、其京城が現在の有樣とは何の事[illegible]▲元の理事官三浦の志を繼ぐべき[illegible]は當然大庭府尹であるのだ、而るに[illegible]庭其人は市區改正にはドウ云ふ譯か[illegible]だ冷淡であるのだ▲併し我官憲中の[illegible]頭株には改正熱心の人々も大分見受[illegible]樣だ、まづ第一が山縣政務總監、次[illegible]明石警務總長、而して寺內總督も亦[illegible]ではない樣であるのだ▲本町通りの[illegible]擴張は一部利害關係者の唱道である[illegible]も知れぬ、併し一部の利害と全体の[illegible]害とが一致する場合に於ては一部利[illegible]關係者の言とて排斥するには當らぬ[illegible]日韓併合は結構な事だ、併し此結構[illegible]事があつた爲めに頻りに日鮮人間に[illegible]思ひ其結果として民團制施行區域內[illegible]目貫本町筋の市區擴張を輕視するは[illegible]不親切な事だ▲曾つて俵去り、今は[illegible]隈本學務課長が去つて前學部派は[illegible]た、サテ之からの學務局は何をする[illegible]日本語の普及か、愛國心の養成か、[illegible]部の一隅に蟄居する關屋等は一体[illegible]するか▲來る二十五日午後四時半[illegible]京城ホテルに於て北里博士の歡迎[illegible]話がある、發起人は明石將軍と藤田[illegible]院長だ。

▲京城手形交換高▼

…負傷違ふ防ぐべし旅行凶△二黑…四綠…婚談養子談稼業に吉他は手控△七赤 盛運の日大抵吉色情沟情の破…一館判斷)

活動寫眞 秋蘭子

朝の南大門驛

二十三日朝晴れ渡る朝日は、すが〳〵しく、南風沙漠を惜いて大陸的のレーズンを顯はす、荒涼たる山野、草青く

水燈

ひの日も遠くない、足下輕き…電車を捨て停車場に入れば、警官のチグの姿、牛客くチャンガーの溝衣も、宛然昨日の餘韻とや見ん。警官の傍に…三四の背廣服の男は互ひに談話を交へて立つ。

奈良縣に轉任

北部警察署高等主任井上警部は、奈良縣に轉任の爲めに來り、他の警官は之れを送るべく來たのであると思はれた。

待合室は賑やか。…

福井千壽

…黑綴肥滿の男は之れ福井繊業所福井千壽氏である。ベンチの一隅に只一人、靜かに手を拱き婦人は之れ、長谷川町二丁目長和鶴枝と云ふのである。

阿部允家

滯京中の國民新聞社理事阿部允家氏も歸東すべく見へた。質素の風彩、誠實の眉宇、實業家として、相應しき。

釘本藤次郎

京城の巨商釘本藤次郎君は一個の行李を托して、內地に向ふべく來た、時や解氷、將に諸事業澎興に際す、君が歸東の心算、果して如何、秘鑰堅く鎖して聞くを得ざるを憾む。

午前九時、釜山行の列車は、此等の紳士を搭載して、南風を突ひて去つた。

同九時十分、新義州行列車は、三日月旅館、大垣樓と書した小包類を提げた半白の紳士を最終として、靜かに砂塵捲き上がる郊原に進んだ。

列車は發し人は去つた、驛前一輛の馬車は誰れをか待つ、靜かに出て來し

趙重應

氏は、聽て靜かに腰を下して、鞭聲高く馬車は轣轆として街上の彼方に消へた。

文の助の凄腕

▽技手さん御安心、

これ申す文の助と申すは例の獨立藝妓置家の文の助の事にては之れ無く候然らば何處の文の助かと申候に新町遊廓は惜月樓の失れにて候此の妓會つても數日致せし通り生れは横濱根岸町にて…

石原うた

本名を石原うた(二六)と申すが…氣の毒にも成々事情にて…當時二歳の乳呑兒を實母に預け…不在中は祖母さんの言…いてねオトナにして居…歸りには上等れ土產を…オー判つたかい良い見…來て上げるよと煙擦り…らでニタニタと笑ふ可…覺悟は爲たものゝ湧き込んで樓主に伴れられ渡…去も初めの間は氣が乘ら…乳呑兒が每日た前を慕ふ…居る哩のウと任りし昨…は涙に明し暮して居た

我子我を忘れしと母

…く頭は去る者日々に疎…程薄くなるもの豈に啻…みならんや況んや何新聞…と云ひ某銀行の横田さん…かれつしたのも出來た

稼業に趣味を持つ樣

…かひき、扨も其後然る程…旬の事總督府の何んと…深澤菜(二六)が文の助の…ン參りて名指しで登樓…張居…せしに同夜は例の竹田さんが來ると云つて留きながら來なかつたと云ふので中ツ腹で居た處とて其の冷たい尻を某に向け腕に撚りをかけて振り飛ばしたるにぞ深澤君惚れてる丈けに怒つて終ひゴタ〳〵して堀つたが餘ツ程未練があつたと見へ翌晩再び鼻の下を長アくして登樓せし甘さ加減に文の助頭から背めて掛り前夜の不都合を何かの所爲にして謝びたる上

深澤君の希望の全部を滿たさしめたることとの落著話

て夫れからと云ふもの無中になりれ定りの落著話しを持ちかけしに百七八十圓あれば結構との話に

出張旅費を引當に目下金策

運動中に候とかなるが文之助は內心出來ると思つて云つたことならねば出來た上では又一問着あるべしと噂致し居候さりとは物騒千萬とこう申すべし

●良人を慕ふて發狂す

一昨廿二日仁川京町巡査派出所へ一人の婦人ノソリと入來り譯も謝別も判らぬ事を述立るより警官が住所姓名を尋ねると仁川花島洞豐島重太郎の妻きぬの姉異殿たま(三五)と云ひければ早速重太郎を呼出して訊したる處相違なかりしかば同人に引渡したりと因にたまの良人は昨年來より北韓地方へ出稼中にて一度も歸仁せねよりたまは良人の身が案じられ心に迷が生せねばよいがと旦夕變々として居たるが昨今は良人が一層戀しくてたまらなくなり早く歸て來て吳れ〳〵と云ひ居る中に精神に異狀を生し家出しては處々を徘徊するなりとは氣の毒なものなり

●阿片密造者の檢擧

淸國山東省生れ當時北部柴門洞居住雜貨商劉維巖(五〇)西大門外居住元亨利(二九)徐廣仁(二…)の三名は何れも阿片密造並に密賣を南部署に檢擧され目下取調中

●各署の鼠買上數

廿二日各署捕鼠買上數西大門分署二七一東大門分署二〇五南部署一七八水門洞分署四一九龍山警察署三五四北部署二〇六銅峴分署一三三龍山憲兵分隊二五

●仁川捕鼠買上 廿二日二百十六頭にして金六圓四十八錢なり

●飴一個から騷ぎ

一昨日午後六時頃仁川仲町三丁目榎本芳二郎長男芳次(七)次男芳助(五)の二人五厘の飴を買ひ歸宅せんとするに飴屋は金を受取らんと支拂つたと云ふに飴屋は子供の持ちたる飴を取上げたれば二人は泣く泣く家に歸り父に告げしに大に立腹前記の飴賣の所に來り派出所に來れと强請したるに側にありたる飴百四十個入を滯中に入れたらめ今度は飴屋より訴へ出で賠償四十錢の所二十錢を支拂はしめ說論の上放還とは飛んだ騷だ

●共犯者捕はる

山口縣人吉田竹次郎(二九)が目下入監中の三原藤太郎と共謀して昨年十二月八日以來龍山元町三丁目象古禮藏方濱江通り三丁目德久米藏方外數ヶ所に忍入り金品數百圓を窃取三原は逮捕され竹田は逃走せし事は既報の如くなるが最近吉田も逮捕され京城區裁判所に於て懲役七ヶ年罰金三十圓に處せられしぞ

●說諭

本町一丁目裏通り十七番戶靑物商安元熊次郎(三〇)は二十二日午後十時三十分頃長谷川町一丁目洋人料理店メーリ方に至りビール二本を飲み代金一圓を支拂ひ酩酊亂暴して南部署に突き出され說諭

●宮町のボヤ

昨廿三日午前九時廿分仁川宮町三丁目馬場定吉方の臺所の煙筒より發火せしより仁川消防常備隊よりは逸早く走せ付け盡力せし爲め未だ水道消火栓も利用なく大事に至らざりしは先づ結構なり

●横領

當時南大門通り青物商兒玉虎次郎(三〇)の横領事件は懲役六ヶ月

●窃盗

仁川宮町三丁目材木商井上著四郎方へ一昨廿二日午後十時頃一人の賊忍び入りたるを家人に認められ派出所へ引渡されたるは內洞の金順元

●窃盗

既報日韓書房を荒せし福岡縣人加藤百錄(二九)は懲役四ヶ月

●教唆

日の出樓主增木鹿之助(四〇)の公文書變造教唆行使事件は懲役六ヶ月の處せらる

京城の眞夜中(六) みや生

要するに美人でも無ければ愛嬌もなく唯だ一つの取り所は廿世紀の理想的婦人の資格を備へて四肢が水膨れの樣に肥滿して居ることである、今や財狼の餌食にならんとする可憐の小女を見て予はそゞろに感じた、彼等自身は妾となつても恥辱とは思ふまい、又其の父母等は娘が貞操を破つても多少彼等に物質的慰安を與へ得れば是れ孝行であると心得て居る、彼の女の父は車夫である、一ヶ月の收入は二十圓內外あらうが以て親子三人を養ふには足るまい、父が一日病めば忽ち米鹽の缺乏を告ぐる

飢の前には貞操も道德

も何等の勢力も無い、果して罪は社會にあるのか、個人にあるのか、予は氣を取り直して、

「學校、何處」と問ふと

「竹內です」竹內女學校です

」と娘は明白に答へた、醜業婦にまで女子大學の美名が利用せらるゝのは女子大學の爲めに悲しむ可きことである、「貴女の寫眞ありますか」と問ふと御座いますよ、と言つて出して來たのを見ると、柔的なハイカラ式の令孃である勿論髮は春吹くそよ風にもなびくやうに見ゆる廂髮の姿仰々しく胸高に穿いた海老茶袴に凡ての罪惡を包み隱してツンと立つたる姿は何處から見ても騷ぎした女學生である。借て段々話しを進めて

妾料

の談判に取り梁ると

一ヶ月十五圓

出せとの要求だ、彌部しを續けて、

「御都合さへ宜ければ……私共は此から出て行きますから……」

ご突貫して來た、之では堪らぬ、要らぬことゞではあるが彼の女の

名

は

千代乃

とか云つた、

この難關を無事に切り拔けて歸途に着いた、時は之正に午前三時二十分、一番鳥の鳴く聲を聞いた、

●演藝だより

●壽座 非常の好評を博し居る新派眞劇立志團廿四日の藝題は伊原靑々園脚色の「夜叉丸五郎」全十一場にて木戶無錢特等五十錢一等三十五錢二等二十五錢三等十五錢の大勉强、配役は山田(五れちか)五郎(花島)書生山田(五味)侯爵家令中司、書生近藤(村山)車夫寅造(一二三)大宮八五郎、大河內定行(北村)刀屋佐吉(藤島)松平侯爵(吉山)令孃富子(寶井)遠州屋淸太郎(井上)れ紋(淺井)八五郎忠楊次(加藤)兒分段太(十田)

●歌舞伎座 大入繁なる男女合併劇廿四日の替狂言前「天神利生記宮本左門一代記」二日續、切「伊勢音頭戀の妬刃油屋十人斬」尙重なる配役は大山太郎、石垣兵衛、福岡貢(正三郎)忠兵衛、娘吉野江、中間新七、れ岸(福司)女房蛸れ辰、油屋れこん(清吉)田坂彌十郎、佛座三、三保松濱五郎、仲居萬能(尾の吉)鈴木源吾、貍の勘八(島十郎)森田傳作、原田軍次兵衛岩治、花笑)宮本左門之助 料理人喜助(鶴二郎)

●京城座 引續き多大の喝采を博し居る兄弟義團は四十回の紀念祝として男女を問はず二名迄廿錢均一と云ふ破格の大割引夫婦券を觀客へ進呈の由廿四日の藝題は「噫此の才子」全十二場尙重なる配役は吉川將軍(岩村)箱屋才三(花房)雪江(堀江)書生水田、れ傳(吉井)篠崎中尉(谷)山田一等卒(塚本)藤井勝次郎(松澤)櫻井初公(藤澤)深尾亨、藤井藤五郎(小泉)靜江、東)玉置署長(江見)

▲平民文壇▼

▲此の頃某署の刑事なりと稱し新町遊廓、中の新地其他市中に散在せる料理店に至り遊客名簿を繰つて同一氏名のものが三回以上登樓して居ると其の者の遊興せる時を見て直ちに客室に假睡を開いて金の出所を取調べるので非常に迷惑を感ずる客がある其の筋にては此の營業妨害者を取締るべしだ(への字)▲本町の一商人君の協同組に對する投書意味の分らぬ所あり書き直して送られたし(係)▲公民生君の吉田某に關する記事中某會社創立運動云々は督府會計局の若い購買係は實に不都合わり右會社名を通知されたし(係)▲總だ自分の氣に入らぬ商人が御用を聞てもテンデ鼻も放掛ない〇〇を請求する爲なら男子らしく申込め連名で進呈するよ恐喝〳〵すると〇〇を素破拔くぞ(天下の商人)▲僕は當局に注告する斯樣な投書が殆んど每日だ中には麗々と田中某或は何某と姓名を記して來るのもある必ずしも中傷とのみは思へない戒飾すべしだ(係)▲三坂通りに吾妻樓と云ふ魔窟のある事は昨年秋貸紙に書かれた如くなるが其の後姉い方は日本へ歸つた而して開盛樓とは關係を絕つて玉の江に關係をつけ妓が不足すると同家の出稼を受けて居る目下居る四人の酌婦は悉く此れ無鑑札▲而して又賭博が盛んだ派出所とは大分離れて居るから判らんのだらう三面子の魔窟探險を望む(希望生)▲近々行るべしかよ(小僧)▲書紙に連載されし寡婦奧村さめは元の抱へ主〇萬方に歸つて前借金のぬける迄働けよと檢事局にて訓戒されしにも拘はらず目下絹川樓で賣淫に從事し月に八九十圓も身代を上げて居るが〇萬へ對してはビタ一文も支拂はない何んとかして遣らねば〇万が可憐相である(とんぼ)▲ソロ〳〵山遊びの好季節となつた嬉しいナア(小供)▲ホントだ〳〵(小僧)▲二十二日の夜十一時頃長谷川町から明治町の方へ脫ける即ち紅葉小路なる所を通つた而して共同便所の傍へかゝるとピツト寄つて僕の肩へ手をかけた者がある、若い女だ▲而して僕が足を止めて振り返るとニッコリしてれ寄んなさいナ、御園白粉の香がプンと鼻を撲つ▲僕はゾツとした笑つた爲めに彼の女の面の雜作なるものは泥茶〳〵に毀れて古道具屋の移轉の如になつて居たからである▲が化物屋敷へさへ泊つて來た人がある世の中此れは如何にた粗末でも人間である豈夫取つて食はうとは云ふまい▲幾何だいと聞いたら『二圓』僕曰く『五圓吳れなくちや』彼れ曰く『マア』(風聞子)

●天氣豫報(自廿三日午前六時至廿四日午後六時) 東の風曇

▲神戶電報 … 引 三八、九〇〇 [illegible]

▲東京株式 新甫 … [illegible]

公債諸株券 現物賣買 迅速確實に御取扱可申候 兼業 證券 洋服小賣 官衙御用達 京城本町三丁目 大坂野村德七代理店 田中友吉商店 電話九三九 (夕)

最上醬油 登錄商標 山十印
千葉縣銚子町 釀造元 岩崎重次郎
京城本町壹丁目 發賣元 三巳商會 電話七五三番

富士の雪印 白酒
仁川本町三丁目 那波酒店 白酒釀造部 電話三三番
四斗五升詰、半樽、四合瓶詰 二合瓶詰其他幷賣
右は今年試釀致し賣出仕候間不拘多少陸續御注文の程願上候

新コークス販賣 瓦斯 京城黄金町高等演藝館隣 酒井組 電話一二四九番

神經をおこす 脳病を全治す
島村醫學博士の有効證明を得たる健腦丸は、腦病神經病に奇効を奏し、逆上を引下げ、便通を心能くし、中風卒中を未發に防ぎ恐るべき腦充血を全治す

腦病全治新藥 健腦丸
記憶力悪き人 頭痛する人 神經衰弱にて氣分鬱ぐ人 常に腦神經を勞する人の必用藥は獨り本劑のみ也
定價 一日分十錢、三日分廿錢、七日分四十錢 五週分八十五錢、五週分金三圓
本舖大阪心齋橋二丁目丹平商會藥房 分店大阪平野町堺筋北丹平商會分店 東京日本橋區通町丹平商會支店 其他全國有名藥店に取次す
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話八百四番 振替口座京城千六十八番

寫眞 半額 肖像入寫眞ハガキ進呈
御寫眞師 本館義御愛顧に依り益々隆盛に赴き候に付此際萬端の設備を改善し熟練なる技師を增聘し最も嶄新なる技術を應用し撮影可仕候間尚一層御愛顧御來館之程希上候
追而當分御披露の爲め定價半額之上本館特製なる新案寫眞ハガキ進呈仕候 宴會又は集合の撮影は遠近に拘す費用自辨割引も致可仕候
京城壽町一丁目(中券番隣)(電話架設中) 金田玉翠館

鍼灸治療 御報次第參上治療可仕候
脚氣、リウマチス、膓胃加答兒、腦病 神經痛、小兒寢小便、其他諸病一切
京城曙町(取次電話一一八七) 石川源太郎

優等 清酒

韓國銀行
當銀行は金庫事務の外預金貸金爲替等普通銀行の業務を精々確實親切に取扱申候
支店出張所 大阪、仁川、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、安東縣、新義州、
爲替取引先
日本 東京、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大阪西區、松山、廣島、長崎、
朝鮮 公州、光州、晋州、全州、開城、海州、沙利院、博川、寧邊、義州、咸興、
清國 大連、遼陽、旅順口、奉天、鐵嶺、長春、牛莊、天津、北京、漢口、上海、
其他外國 香港、桑港、紐育、龍動、巴里、里昂、

ペスト豫防は鼠を捕るに限る
捕鼠器製造大販賣
多數御入用の御方は特に安價に御相談致可候
京城本町貳丁目
和洋金物商 佐野彥藏商店 電話一六三番 振替口座韓國一二〇番

資本金五百萬圓
東京建物株式會社京城派出所
本店 東京日本橋區呉服町一番地
派出所 京城旭町二丁目百十五番戸 電話番號 一六八一番
一、土地建物抵當貸附
一、月賦償却建物建築
建築費用は尤も薄利に御負擔申候又月賦償却金一千圓に對し五ヶ年とせば毎月元利金二十三圓七十九錢宛に有之候今や解氷期に近き候に付直接御申込下さい

朝鮮名産 鶴乃箸
○鶴の骨細工種々 ○鶴の羽細工種々 ○朝鮮土産品種々
製造發賣元 京城本町二丁目 海市商會 電話二五〇 振替朝鮮四八
特約發賣元 京城本町四丁目(電話九五六) 日之出商行
特約發賣元 京城本町六丁目(電話二一〇) 西崎本店

エールリッヒ、秦兩氏發見 梅毒新藥(六〇六號) 注射治療の需に應ず
花柳病痔疾專門 京城相生町南門湯横(電話二二九四) 京城梅毒病院 院長 醫學得業士 蘆田耕平

諸金網製造販賣
鑛山用 製紙用 精米用 織綱一式 篩類一式
其他御好次第
右今般當店監獄作業部ニ於テ製造開始致候ニ付多少ニ不拘御用命仰付被下度候也
京城本町五丁目
和洋金物商 藤本藤次郎本店 長電話四五番電信略號「タ」 振替貯金口座朝鮮二五六番

齒科治療
本町六丁目(飯そば横町)
ドクトル 中村安子
女子見習募集委細面談 (電話一五八三)

株式會社 十八銀行京城支店
本店 長崎市築町 支店出張所 京城、龍山、仁川、木浦、元山、釜山、群山、羅州
資本金 三百萬圓 積立金及繰越 九十九萬五千圓
京城南大門通(電話四二〇)
銀行一般業務精々御便利に取扱申候
朝鮮 京城、龍山、仁川、木浦、元山、釜山、羅州、群山 日本 熊本、大阪、佐世保、嚴原、五島、壹岐
其他日本朝鮮樞要地及露領浦鹽に爲替取引先有り
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候 (利息日歩壹錢二厘)
長崎貯蓄銀行代理店 (十八銀行京城支店)

朝鮮牛種及牛乳改良元祖
消毒純良 高等牛乳
當場飼畜の乳牛は悉くエーアシヤ、ゼルシ、ホルスタイン種等最も優逸なる洋牛而已なるが故搾取する所の牛乳は極めて純良無比なり
當場畜舍及殺菌室等其他一切の設備の完全なる他に比類なし
當場には種畜牛數頭飼養致候間種付御希望の方は御申込被下度候
當場には御遊歩用牛乳切手發賣致候
其他牧畜に關する一切の業務は叮嚀親切に取扱可申候間御用命之程希上候
京城南大門外 荒井牧場 (電話一〇五六番)
龍山本町三丁目 龍山販賣所 (電話二〇二番)

概略營業品目
和洋帳簿諸紙類 文房具學校用品 卷紙封筒手帳類 帽子洋傘クツ鞄 洋服附屬品一式 メリヤス類一式 毛布膝掛馬車掛 石鹸香水齒磨類 タオル、ハンカチフ 手袋沓下袋物類
正札 一 引なし
京城本町四丁目 官衙、陸軍 銀行、會社 御用達
和洋雜貨 卸小賣商 池田長兵衞 電話二百〇六番
●地方よりの御注文は代金引換小包にて發送仕候●

●京城市内の御注文は遠近に不拘早速持參可仕候●

旅館 京城ホテル
京城南山町三丁目 電話 長二三番 四九二番
日本室和食 特等(三圓五十錢 壹圓) 一等(二圓五十錢 壹圓八十錢) 二等(一圓五十錢 壹圓六十錢) 三等(壹圓五十錢)

世帶道具は何でも有り升
外に宅ノ酪酒手ヨリ白米和洋ローソク上白シメ油 高 醬油ハ特約品
右品質上等直段下等大勉強販賣仕候間續々御用命奉願上候
京城本町六丁目
日用雜貨 卸問屋 西崎嘉七本店 電話二百十番 電報(ニカ)又ニ 振替貯金口座韓國七番

諸官衙御用達
印章彫刻 ゴム印彫刻
京城本町四丁目 赤帽子號印舖 奥野岩太郎 電話九三番

弊館には夜警の設備有り
陸軍指定旅館 鐵道院指定旅館 仁川水產組合指定旅館 各保險會社指定旅館
眺望の好き事第一なり
御客樣の安全此の上なし
仁川海岸 旭屋旅館 電話二五一

★株式會社百三十銀行京城支店
電話百九十八番 振替貯金口座朝鮮 一一三番
資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿內 大阪、神戸、兵庫、京都、西陣、堺、伏見、郡山、奈良、八木、田原本、高田、貝塚、岸和田、下市、茨木、平野、住吉、御影
東海道 東京、横濱、大磯、静岡、甲府、津、岡崎、濱松、半田、桑名、名古屋、熱田、四日市、山田、松阪千葉
東山道 彥根、大津、八幡、長濱、多治見、大垣、岐阜、中津、宇都宮、高崎、伊勢崎、前橋若松、福島、酒田、能代、七崎青森、仙台、
北陸道 小濱、敦賀、福井、鯖江、大聖寺、金澤、高岡、富山、伏木、新潟
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豊岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 姫路、龍野、網干、岩見、西大寺、岡山、味野、牛窓、玉島、笠岡、柄、倉敷、高梁、尾の道、福山、府中、三原、廣島、呉、小郡、岩國、柳井、平生、防府、山口、徳山、萩、長府、小月、下之關、明石、
南海道 和歌山、田邊、御坊、新宮、尾鷲、串本、高松、坂出、豊濱、川之石、今治、西條、松山、三津ヶ濱、州本、八幡濱、宇和島、高知、德島、撫養
西海道 門司、福岡、博多、直方、飯塚佐伯、大分、別府、臼杵、長崎、佐世保、唐津、佐賀、若津、中津、伊萬里、久留米、熊本、鹿兒島、坪井、宮崎、
北海道 小樽、函館、
台灣 臺北、臺南、
樺太 太泊、
朝鮮 仁川、釜山、平壤、鎭南浦、元山、群山、木浦、羅州、晋州、馬山、眴州、大邱羅南、新義州、城津、開城
滿州 安東縣
清國 清州、大田
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

長崎流 ○しるこ ○茶碗むし ○むし壽し (出前も御好に應じ可申候)
南山町二丁目(南山端上隣) 松ぞの (電話一一八五番)

◉貸金 旭町二ノ一五別府組車帳場筋向小路 高橋
有給者には極秘密に低利融通可申候

キ 二月中 出帆廣告
海州行 天草丸 廿八日
安寧丸 二十四日、廿八日
濟浦富里浦屯串行 三省丸 廿四日、廿六日
千葉丸 廿四日、廿六日、廿八日
成歡丸 廿八日
鶴一島行
千歳丸
成歡丸
三省丸
仁川本町四丁目 合資會社 秋田商會船舶部